

【長崎市長崎学研究所活動報告】

(2) 普及啓発事業

(一) 長崎市長崎学研究所について

一 長崎市長崎学研究所について
設立..平成二八年四月一日

場所..長崎歴史文化博物館研究室内
(〒八五〇・〇〇〇七、長崎市立山一・一・一)

連絡先..電話番号〇九五・八一八・八三八八
FAX〇九五・八一八・八三七七
E-mail:nagasaki_gakukenkou@city.nagasaki.lg.jp

二 職員体制

所長、係長、学芸員二人の計四人で活動

所長..赤瀬 浩 (あかせ ひろし)
係長..徳永 宏 (とくながら ひろし)
学芸員..入江 清佳 (いりえ さやか)
藤本 健太郎 (ふじもと けんたろう)

三 事業内容

① 調査研究事業

- 調査研究活動対象施設
- ・株式会社十八銀行 (令和二年五月二二日、六月九日、七月一六日)
 - ・元祖からすみ高野屋 (令和二年五月二九日)
 - ・松田源五郎ご子孫宅 (令和二年八月一九日)
 - ・株式会社四海樓 (令和二年九月三〇日)
 - ・料亭 青柳 (令和二年一〇月二日)
 - ・諫早市立諫早図書館 (令和二年一二月二日)

(1) 長崎学ネットワーク会議理事会

【別表一..長崎学ネットワーク会議理事名簿】

長崎学研究所を拠点として大学、博物館、郷土史研究団体、長崎

- (二) 長崎市長崎学研究所紀要『長崎学』
年に一回、長崎学に関連する研究論文集を刊行・公開する。
内容は本誌掲載のとおり。

(二) 長崎学研究発表会 ※オンライン形式にて実施

長崎学に関する研究成果の公開を目的として、研究成果発表会を実施、三人が研究発表した。報告後、各人の研究内容については、当該分野に造詣が深い大学教員による、一括した形での総括・講評を行つた。

日 時..令和三年二月一一日 (木・祝) 一三時〇〇分～一六時三〇分

共催..長崎学ネットワーク会議
基調提案..「海洋の長崎」

研究報告..①田口 由香氏 (長崎大学教育学部准教授)
②細井 浩志氏 (活水女子大学文学部教授)

「幕末期長州藩における下関戦争—長崎開港後の外国貿易を視点として—」

③齋藤 義朗氏 (長崎県文化振興課係長)

「艦艇の進水式と長崎—『神事(くんち)以上の大騒ぎ』—」

総括講評..細井 浩志氏 (活水女子大学文学部教授)

参加人数..四五人

県をはじめとしたネットワークを構築する。各団体間の連携と協働を目的として「長崎学ネットワーク会議理事会」を開催した。

・第一回理事会

日 時…令和二年六月四日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席…一二団体（ネットワーク構成団体・一二団体）
内 容…江崎べつ甲店の解体に関連した情報交換

・第二回理事会

日 時…令和二年八月六日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席…一三団体（ネットワーク構成団体・一三団体）
内 容…登録有形文化財が登録を解除され解体される例が増えていることから意見交換を実施

・第三回理事会

日 時…令和二年一〇月一日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席…一二団体（ネットワーク構成団体・一二団体）
内 容…長崎市歴史民俗資料館の資料閲覧について情報交換

・第四回理事会

日 時…令和二年一二月三日（木）一八時〇〇分～一九時一五分
出 席…一二団体（ネットワーク構成団体・一二団体）
内 容…東山手甲十三番館にて開催。各団体の動向報告・意見交換
・第五回理事会

日 時…令和三年二月四日（木）一八時〇〇分～一九時一五分

（四）長崎学ネットワーク会議公開学習会
長崎学ネットワーク会議団体の理事、会員及び学生を含めた長崎学ネットワーク会議構成員を対象に、日頃の研究成果を報告・還元する機会を設ける。
最新の研究について講師を招聘し、その成果を共有することとし、長崎学の深化、振興及び後継者の育成につなげてゆく。
なお、公開学習会については、長崎学の普及啓発の一環として、右の参加資格者に加え、広く一般からも出席を募ることとしている。令和二年度は合計二回の公開学習会を開催した。

・第一回 ※定員七〇人、事前申し込み制で実施
題 目…一七世紀東アジア海域のトレーディング・パス
時 間…令和二年九月四日（土）一八時〇〇分～二〇時〇〇分
場 所…長崎歴史文化博物館一階ホール
入 場…無料
講 師…彭 浩氏（大阪市立大学経済学部准教授）
概 要…一七世紀前期の日本及び東アジア海域に用いられたトレーディング・パス（貿易許可証）は、東アジア海域での秩序維持の役割を担っていた。江戸時代初期の東アジア海域のトレーディング・パスの運用実態や意義について、最新の研究成果を報告いただいた。

参加人数…二九人（うちネットワーク会議理事：三人）

・第二回

題 目 .. 一九世紀長崎の対外警衛と高島秋帆の事績

時 間 .. 令和二年一月一八日（水）一八時〇〇分～二〇時〇〇分

場 所 .. 長崎歴史文化博物館一階ホール

入 場 .. 無料

講 師 .. 梶 輝行先生（横浜薬科大学教職課程センター長・教授）

要 .. 文化・文政期以降の長崎における高島秋帆の砲術修業とオランダ商館を介した洋式軍事技術の導入動向を踏ま

え、一九世紀長崎の対外警衛を背景にした秋帆と高島流砲術の歴史的意義について研究報告した。

参加人数 .. 七五人（うちネットワーク会議理事：三人）

③ 後継者の育成事業

（二）長崎学児童研究コンクール

長崎市に関する歴史、地理、伝統などの研究を通して、郷土に対する関心を高め、郷土の歴史や文化を大切にする心情を養うとともに、児童の郷土研究を顕彰する。

五 レファレンス対応実績

（二）長崎学児童研究コンクール

内 容 .. 八三件（三月一日時点）

内 容 .. 「町年寄後藤家系譜に関する史料の所在」、「長崎高札に関する史料について」「長崎の地名及び難読地名について」、「第四回明治美術会へのグラバー・ハナの作品出品」など

内 容 .. 二件

作品展示 .. 令和三年二月八日（月）～二月二二日（日）の期間、入選以上の作品一四点を、長崎歴史文化博物館にて展示

選以上の作品一四点を、長崎歴史文化博物館にて展示

四 職員による講演・講師実績

実施回数 .. 一一回

聴講人数 .. 二、一九五人（延人数、三月一日時点）

主催団体 .. 長崎大学、NPO法人長崎史談会、九州史学研究会、長崎商工会議所など九団体

題 目 .. 「長崎の昔と今の移り変わり」、「長崎市長崎学研究所について」、「唐人屋敷の年中行事」「長崎の幕末に活躍した偉人たちについて」など一二テーマ

長崎くんち延期に関する解説（計二回）

長崎学ネットワーク会議公開学習会

NBC「P.i.n.t」番組レギュラー出演（計一回四回）

第五回長崎学研究発表会

第五回長崎学児童研究コンクール

ラジオ取材対応（計二回）、新聞記事解説（計二回）、書籍出版（計二回）、外部での講師講演、踏絵関係史料紹介

掲載媒体：長崎新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞、長崎放送（NBC）、テレビ長崎（KTN）、長崎ケーブルメディア（NCM）計七媒体

七 学会・学校等への協力
件 数：一件

①長崎市立桜町小学校「はじめよう！長崎学（総合学習）」（令和二年六月二三日（火）、長崎歴史文化博物館との協働事業）

八 外部団体発行刊行物への掲載

・赤瀬 浩「長崎の食文化に見る“異文化結合”——遭遇と受容の最前線で何が起こったか?」（『CEL - Culture, energy and life』vol.125、二〇二〇年）

・藤本健太郎「古賀十二郎の英学研究に関する一考察——『徳川時代に於ける長崎の英語研究』の書誌情報と『古賀文庫』収蔵洋書の検討を中心に——」（姫野順一監修・新長崎学研究センター編『資料に見る長崎英学史』新長崎学研究叢書1、二〇二〇年）

【別表一】長崎学ネットワーク会議理事名簿(令和三年三月一日時点)

No.	団体名	代表者	理事
1	長崎県立大学	河野 茂	木村 直樹
2	長崎純心大学	片岡 瑞美子	片岡 瑞美子
3	長崎総合科学大学	池上 国広	木永 勝也
4	長崎外国語大学	湯口 隆司	細井 浩志
5	活水女子大学	石川 昭仁	姫野 順一
6	長崎歴史文化博物館	水嶋 英治	水嶋 英治
7	長崎県文化振興課	村田 利博	齋藤 義朗
8	長崎史談会	原田 博二	大田 由紀
9			
10	長崎の風	黒田 雄彦	桐野 耕一
11	長崎コンプラドール	桐野 耕一	桐野 耕一
12	長崎近代化遺産研究会	宮川 雅一	菊森 淳文
13	長崎市文化財課	大賀 史郎	大賀 史郎
14	長崎游学の会	山口 広助	山口 広助
15	長崎近世文書研究会	新名 規明	赤瀬 浩
16	長崎市長崎学研究所		